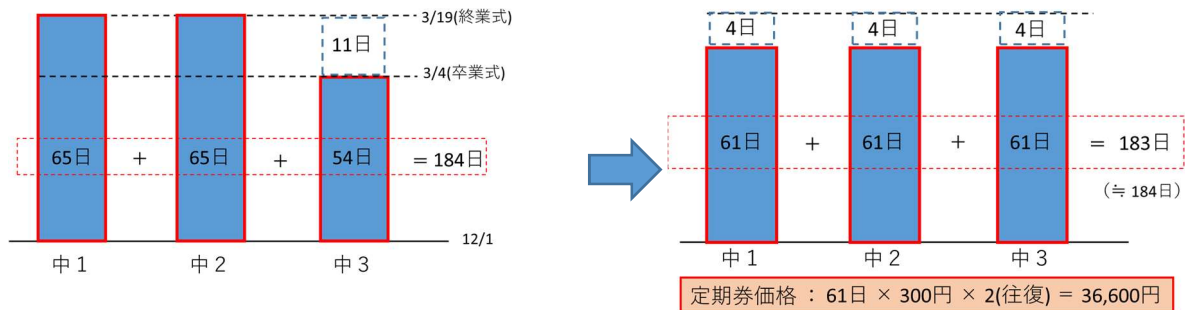


## 定期券について

## 【参考】基本となる定期額（往復）の考え方

学年によって通学日数などが異なり、スクールライナーの利用回数にばらつきがあるため、スクールライナーの利用回数（3年間合計）を毎年均等に負担するような価格設定とする。

**中学生定期**

【現 在】学校支援課からの半額補助があるものの、定期券としての割引は行われていない

定期額：36,600円

負担額：36,600円 - 18,300円（学校支援課補助） = 18,300円

【課 題】一般利用者とは比べ、定期購入によるメリットが必要

【実 施】他交通の割引率や収支率確保を踏まえ、**定期額の1割引**を行う。

定期額：36,600円 × 0.9 ≒ 33,000円

負担額：33,000円 - 16,500円（学校支援課補助） = 16,500円

**高校生定期**

【現 在】朝は利用できるが、帰りは部活などの関係で利用できる回数が少なくなり、往路+復路（若干）という利用形態を想定し、往復定期額 × 0.6 を設定

定期額：36,600円 × 0.6 = 21,960円

⇒往路のみの利用意向が多く、現在の定期券額だと復路を利用できない学生が損をしてしまう。

【課 題】高校生の利用意向に合わせた定期が必要

【実 施】**往路のみの金額で定期券を作り、復路も利用可能とする。**

定期額：36,600円 × 0.5 ≒ 18,300円